

経営比較分析表（令和4年度決算）

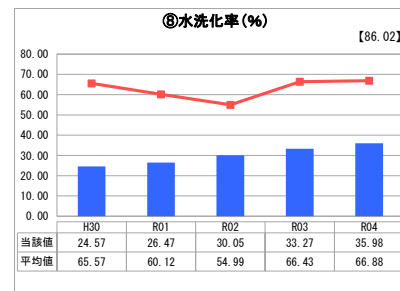
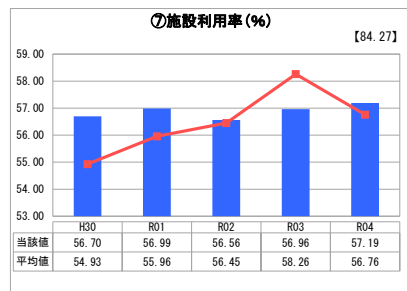
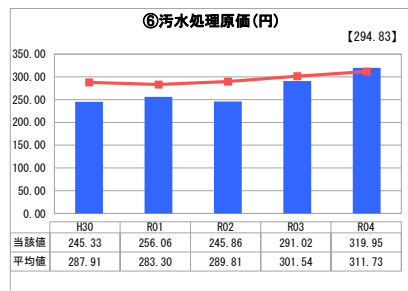
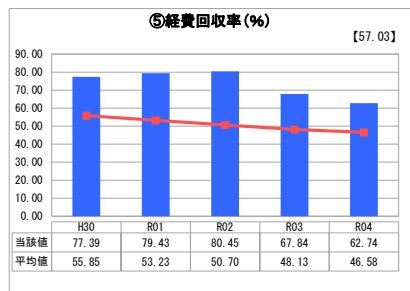
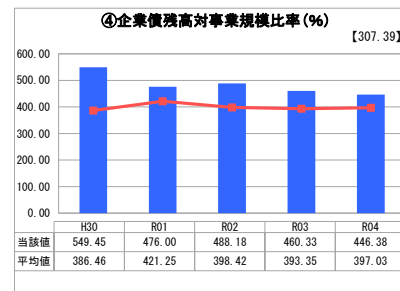
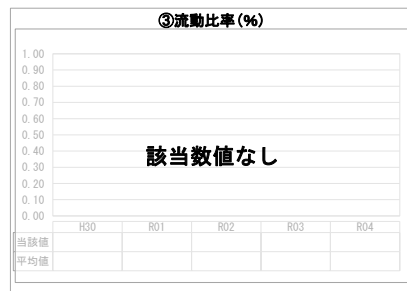
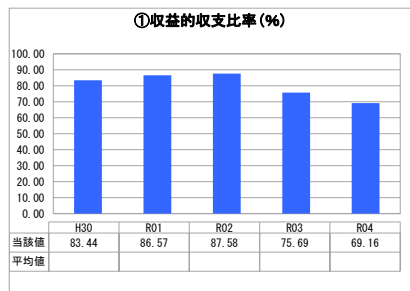
群馬県 下仁田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	78.83	100.00	4,000

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,549	188.38	34.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,100	0.16	31,875.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・下仁田町では平成20年度より市町村設置型浄化槽事業を行っており、国庫補助金・県費補助金・設置者負担金及び起債で事業を行っている。

①表より収益に対して維持管理費が大きいため収益的収支比率が100%より低い割合である。

④表から債務残高は、前年度と比べると低下し、債務残高を全体の年度と比較すると年々、低下傾向にあるが、起債に対して収益が低いため類似団体と比べると高い割合である。

⑤表より経費回収率は、前年度と比べ低下しているが、類似団体平均値を上回る推移が続いている。

⑥表より汚水処理原価は、前年度と比べ上昇し、類似団体と比べると高い割合である。

⑦表より施設利用率は、前年度と比べほぼ横ばいで推移しているが、類似団体と比べると高い割合である。

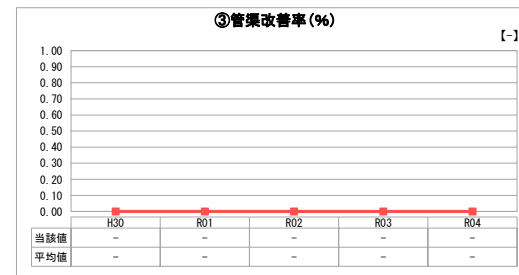
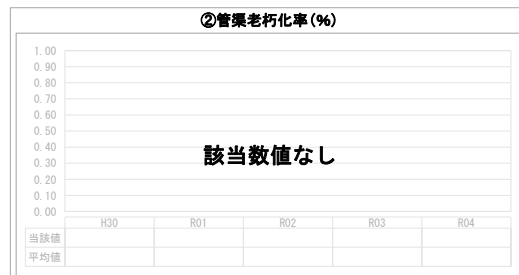
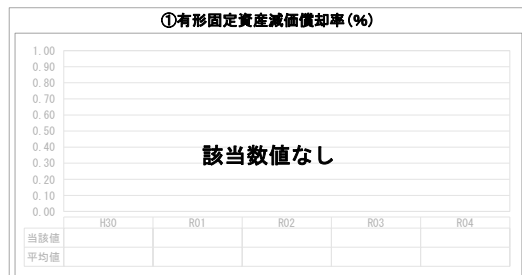
⑧表より水洗化率は、前年度と比べ上昇しているが、類似団体と比べると低い割合である。

総合的にみると、①表でみるように、過去5年で赤字経営が続いてしまっていることから、令和6年度に企業会計へ移行し、経営改善に向けた取組が必要である。

2. 老朽化の状況について

・下仁田町では現在浄化槽の普及推進を行っており、老朽化にともなう修繕が増加している。特に本体の修繕は費用が多にかかるため、財政の圧迫に繋がる。事業開始より十数年が経過し設置年数が経っている浄化槽があることから、長寿命化計画に基づき修繕等を進めたい。

2. 老朽化の状況



全体総括

・市町村設置型浄化槽事業を進めていく上では、今後、物価上昇や労務単価の上昇にともなう工事費の増大化、設置数増加にともなう維持管理費の増大化、老朽化にともなう修繕費の増大化などの課題がある。経営赤字にならないよう工夫・対策を講じ、料金改定等も視野に入れ、鍋川源流の町として今後も浄化槽普及に努め、清流の復元を目指したいと考える。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。